

考えてみよう ごみのこと

ごみの減量・リサイクルにご協力を



▲約1万トンのごみが溜められるごみピットの様子。燃えるごみは東埼玉資源環境組合第一工場のごみピットに集められ、巨大なクレーン(1つかみ約2~3ト)で、ごみが安定して燃えるようにかき混ぜてから、焼却炉へ運ばれます

私たちが、ふだん何気なく出している「ごみ」。その中には、分ければまだまだ使える大切な資源が含まれているかも…

大量生産されたものを大量消費し、大量廃棄して発展してきた現代社会。しかしこの生活は、地球温暖化や大気汚染・資源の枯渇など地球規模の環境問題を生みました。これからは限りある資源を大切に、地球環境に配慮した「持続可能な循環型社会」への転換が求められています。豊かな自然を子どもや孫の世代まで残すために、私たちにできることはなんでしょう？ その一歩をごみの減量から始めてみませんか。

ごみの行方、知っていますか？

市内で出されたごみが、どのように処理されているかご存知ですか？

燃えるごみは、東埼玉資源環境組合(通称リユース)に運搬され、第一工場(ごみ処理施設(上写真))で焼却し、サーマルリサイクル*を行っていただきます。ごみを焼却した後に残る灰は、溶融スラグ*にして減容・無害化した後、吉川市の最終処分場に埋め立てられています。

また、せん定枝や刈り草は、同組合の堆肥化施設で堆肥化され、市民の皆さんに有効活用されています。

燃えるごみ以外の資源ごみは種類に応じて、リサイクルプラザで中間処理を行い、再生事業者によって資源化されています。

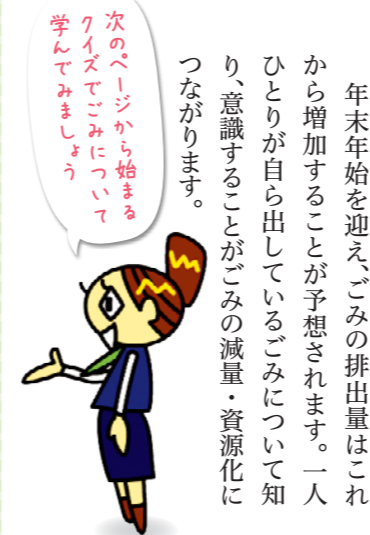
*サーマルリサイクル:ごみを焼却する際に発生する熱エネルギーを回収し、発電や老人福祉センター・市民プールなどへの熱供給等に利用すること

*溶融スラグ:焼却灰を約1300度以上の高温に保った炉の中で溶融し、これを水中で冷却固化したもの

ごみを減らすキーワードは3つの「R」

ごみを減らすポイントは、まず①ごみの発生を抑え(REDUCE:リデュース)、次は②物を大切に繰り返し長く使い(REUSE:リユース)、最後に③捨てる場合はきちんと分別して資源として再生利用すること(RECYCLE:リサイクル)です。

- REDUCE ----- リデュース**
 - 必要な物だけを購入しましょう
 - マイバック・ボトルを利用しましょう
 - 不要なレジ袋・お箸やストロー、包装紙を断りましょう
- REUSE ----- リユース**
 - 修理して長く使いましょう
 - 古着は雑巾や足ふきマットに使用しましょう
 - 不要なものはフリーマーケットに出したり、人に譲りましょう
- RECYCLE ----- リサイクル**
 - 分別して、資源ごみに出したり資源回収に協力しましょう
 - 生ごみは生ごみ処理機で肥料にしましょう



次のページから始めるクイズでごみについて学んでみましょう

クイズ ごみを数字で見よう



Q1 市内から出た1年間のごみの量は何トンだったでしょう？

- ① 約6万トン
- ② 約8万トン
- ③ 約10万トン
- ④ 約11万トン

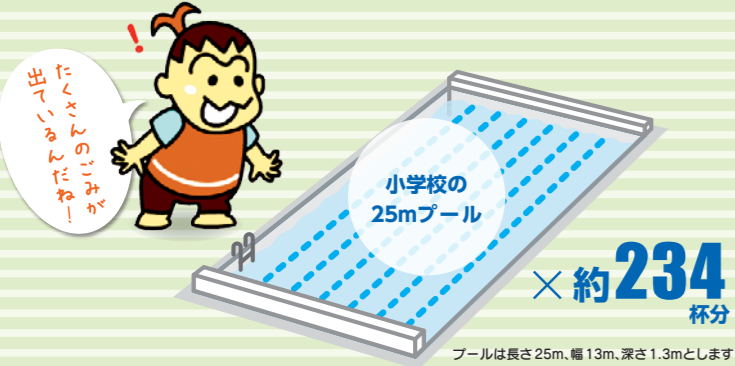
答え ③

平成26年度に、越谷市内の家庭やオフィスなどから出たごみの総量は約9万8793トンでした。これは小学校にある25mプール約234杯分に相当します。

これらのごみを処理するために、約25億円の費用がかかっており、市の歳出(一般会計)の約3%を占めています。ごみの減量でかかる費用が削減できれば、福祉や教育の充実、子育て支援や災害対策、救急医療対策など他の分野へその財源をまわすことができます。

*この費用にはリサイクルプラザの建築費用等は含まれません

答え ③



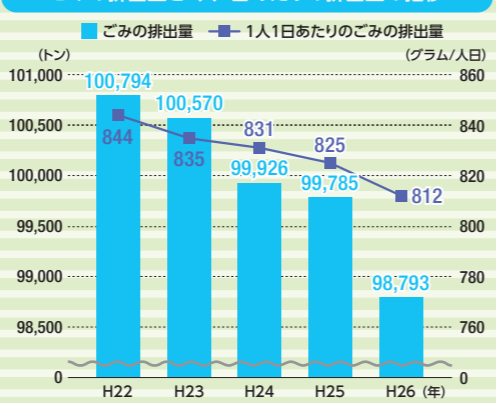
Q2 1人1日あたりのごみ排出量は？

- ① 604g
- ② 704g
- ③ 812g
- ④ 844g

昨年度、家庭から出る1人1日あたりのごみの排出量は604gで、オフィス等の事業所から出るごみの量もあわせると812gでした。

答え ③

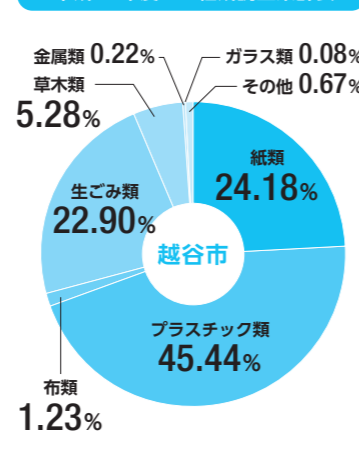
ごみの排出量と1人1日あたりの排出量の推移



東埼玉資源環境組合では、家庭から出る燃えるごみ(年2回)・オフィスなど事業所から出る燃えるごみ(年12回)の組成調査を毎年実施しています(左図)。これにより、ごみの種類や量の割合を把握し、ごみの減量や資源化対策に役立てています。

平成26年度の調査の結果は、プラスチック類・紙類・生ごみ類が大部分を占めていました。燃えるごみを減らすには量の多いプラスチック類・紙類・生ごみを減らすことが重要です。

平成26年度ごみ組成調査集計表



ご活用ください！ 生ごみ処理機器 購入費補助金



家庭から排出される生ごみ類の減量化・資源化を促進するため、生ごみ処理機器を設置する世帯に、購入費の一部を補助しています(ディスポーザーは除きます)。補助額は購入価格の1/2(上限3万円、100円未満切り捨て)です。詳しくは、リサイクルプラザへ。

今日からできる！ 生ごみの水切り

家庭から出る燃えるごみの約2割を占める生ごみ。生ごみには多くの水分が含まれています。生ごみの水分をカットすれば、ごみ減量につながります。

水切りネットでしっかり水切りを

力いっぱい絞ろう！



水にぬらさない



今日からできる!

紙をリサイクルへ

燃えるごみの約2割以上を占める紙類。26年度のごみの調査では、燃えるごみとして出された紙類の約16%がリサイクル可能でした。リサイクルできる紙を燃えるごみとして捨てていませんか?お菓子やティッシュペーパーの箱、包装紙、メモ用紙などの小さな紙…これらは資源として回収できる「雑紙」です。雑紙をごみ箱から救いましょう!



雑紙として出せる紙



● お菓子箱等の紙箱



● トイレトペーパーの芯

● メモ用紙等の小さな紙



● ティッシュペーパーの箱
取り出し口のビニールは外す



● カレンダー
金属部分は取り除く

● 包装紙
テープやシールは外す



● 封筒
セロハンなどは取り除く

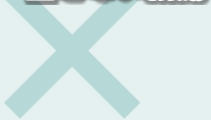
● コピー用紙

*汚れのひどいものやビニール加工されているものは出せません。切り取るなどして燃えるごみへ

注意!

雑紙として出せない紙類

燃えるごみへ



● においのついた紙
石けんや洗剤の箱

● 汚れのついた紙
ケーキやビザの箱

● 水にぬれたり油がついた紙
使い終わったティッシュペーパー



● 感熱紙やカーボン紙
主に爪で引っかくと黒くなる紙

● 防水加工の紙類
紙コップやアイスクリームの容器

● 写真や写真印刷用のプリント用紙

★集まった雑紙は、紙袋に入れるか直接ひもでしばって地域の資源回収やごみ集積所の古紙類の収集日に出してください

Q3

市内には、家庭から出される資源を、日時や回収場所を決め、自主的に回収し、資源回収業者に引き渡してリサイクルを行っている資源回収実施団体が454団体(27年11月現在)あります。26年度に、資源回収で集めた資源量は何トンあったでしょう?

- ① 51177トン
- ② 61117トン
- ③ 71117トン
- ④ 81117トン

答え ④



▲資源回収でアルミ缶を回収 ▲回収した古着は業者が取りに来るまで保管します

Q4

資源回収実施団体が、昨年集めた古紙類(新聞・段ボールなど)は資源回収量全体の何%を占めていたでしょう?

- ① 96%
- ② 90%
- ③ 86%
- ④ 77%

答え ①

団体が、昨年集めた古紙類は7798トンありました。資源回収の総量は81177トンでしたので、96%が古紙類が占めていることとなります。古紙類の中には、雑紙も含まれます。P14の「今日からできる!」紙をリサイクルへ」を参考に、小さなメモ用紙や菓子箱のような紙も紙袋に入れるなどまとめて資源回収の日に出しましょう。

「ごみはごみを呼ぶモラルを持って行動を」



廃棄物減量等推進員 栗原 守次さん

私は平成24年から谷中丁丁自治会の廃棄物減量等推進員として受け持っているごみ集積所を1週間に2回程度、見て回っています。推進員は各地域から選ばれ、その活動内容は地域のごみ集積所の分別チェックやネット・かごなど集積所内の備品チェック、また地域でのごみ減量やリサイクルの啓発活動を行っています。ごみはごみを呼びます。不法投棄などで処理されずに放置されたごみがあると、周りにはあつという間に空き缶やタバコ、ごみが増えていきます。そういった場面を何度も見ているので、粗大ごみや不法投棄などなごみも見かけた場合は、迅速にリサイクルプラザに連絡相談するなど処理するようにしています。ごみは生活の一部で、ごみを出さ

ない方はいません。ごみ問題は毎日起こる問題で、一人ひとりのモラルの問題でもあると思います。心がけが大切です。ごみを出す前にちよつとひと手間:例えば包装紙やトイレットペーパーのしんなど、雑紙は燃えるので燃えるごみに入れがちですが、燃えるごみの横に雑紙用の紙袋を置いてそこに捨てる古紙の日に出したり、生ごみを捨てる前に水切りしたり、毎日数秒でもごみ減量や資源化につながる行動を起こしてもらえたらと思います。町内会の皆さんには、雑紙の啓発やごみの分別の仕方などが書かれた紙を定期的に回覧したり、自治会の定例会でごみの分別の徹底をお願いしています。また、私自身、完璧ではありませんが、日々「ごみ」を減らす努力を続けています。まずは私がごみ減量について勉強し分別を実践し、周りの方々も巻き込んで1人が10人になり100人になり...分別、リサイクルの輪が広がればよいなと思います。

「クイズごみを数字で見よう」、何問わかりましたか?

私たちがいつも何気なく出しているごみを改めて数字で見ると、その膨大な量とその処理にかかる費用に驚いた方も多いのではないのでしょうか。

ごみ減量・リサイクルの主役は皆さんです。お弁当を買って割り箸をもらうのをやめて約4グラム、クリーニングについているハンガーを返却して数十グラムの減量になります。ほかにも、シャンプー・コーヒーマシンの詰め替え品を選ぶことでプラスチック容器等の減量につながります。不要なレジ袋や包装紙を断るなどでごみの発

生を抑え(リデュース)、古着を雑巾として使用したり壊れたものを修理して繰り返し長く使い(リユース)、捨てる場合はきちんと分別して資源として再生利用(リサイクル)を進め、自分のできることから3Rを実践しましょう。

ごみの出し方や分別について迷ったときは、各ご家庭にお届けしている「平成27年度版ごみ収集カレンダー」を参考にしてください。

皆さん一人ひとりがごみの減量・リサイクルを意識してきた結果、市内のごみは、年々減少してきています。引き続き、ごみの減量とリサイクルについて、ご理解・ご協力をお願いします。

リサイクルプラザ・リユースの催し



▲リユースで開催された親子スクール



▲リユースまつり



▲リサイクルプラザでは再生利用可能な家具を再生し販売しています
▶リサイクルプラザで開催されたペットボトル工作教室



▲リサイクルプラザで開催された布ぞり教室



リサイクルプラザ



リサイクルプラザは、平成19年11月に市のリサイクルの拠点施設としてオープンしました。市内で回収された瓶・缶・燃えないごみ・粗大ごみを破砕・選別して資源化する資源化施設、燃えないごみ等の収集を行っている業務施設、ごみ・リサイクルに関する情報を提供し、ごみやリサイクルについて楽しく学べるようになっている啓発施設の3つで構成されています。啓発施設と資源化施設の一部は見学でき、啓発施設ではリサイクル教室など各種講座の開催や、粗大ごみから再生された家具を常時販売しています(教室の開催日は広報こしがやお知らせ版やホームページ等で随時お知らせしています)。

- 所在地 砂原355番地
- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 月曜日、祝日、年末年始
(月曜日が祝日・振替休日の場合は、翌開館日も休館)
- 費用 入場無料
- 問合せ ☎976-5371

東埼玉資源環境組合(リユース)



- 所在地 増林3丁目2番地1
- 展望台の公開日時 月曜～金曜日(祝日、年末年始除く。ただし1/1は元日特別公開を行います)、毎月第3日曜日、午前9時～午後4時
- 問合せ ☎966-0121

東埼玉資源環境組合(リユース)は、越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町の5市1町から構成される組合で、管内の可燃ごみ・し尿処理などを行っています。処理施設には、第一工場(増林)と第二工場(草加市柿木町、平成28年4月より運営予定)、第二工場し尿処理施設(八潮市八條)、最終処分場(吉川市高久)があります。リユースでは、ほかに管内の小学校4年生を対象とした工場見学や夏休み親子スクール、リユースまつりなどのイベントを通じて、ごみや環境問題について楽しく学べる仕組みの充実に努めています。工場の無料見学や高さ80mの第一工場展望台を無料公開しています。工場見学は事前予約が必要です。詳しくはホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。



▲展望台から市内が見渡せます